

平塚市在宅医療・介護連携推進事業の取組について

令和4年度の取組（実績）

1 現状分析・課題抽出・施策立案

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集

毎年、三師会の会員を対象とした医療機関等情報を把握、神奈川県への登録情報から介護事業所の最新情報を得て更新している。

○医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用（ホームページでの情報提供）

市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を更新。

また、「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を更新した。

(市 地域包括ケア推進課)

○ひらつかわくわくマップの更新

平塚市ホームページ（ひらつかわくわくマップ医療介護ページ）で市内の医療機関、介護事業所の位置情報を更新

(イ) 在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討

○平塚市在宅医療・介護連携推進協議会の開催

第1回：令和4年8月4日開催

平塚市の取組・平塚市在宅医療・介護連携支援センターの運営について

第2回：令和4年11月24日開催

同上

第3回：令和5年3月16日開催

認知症総合施策についてなど

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

○終末期に向けた活動支援事業など

終末期における意思表示について支援をするために、「平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会」を開催した。（5月18日、10月21日、2月15日の計3回実施済）

またエンディングノートなどの活用を含めた事業を行った。（令和3年度より配布中）。

○情報通信機器を用いたカンファレンス（退院時共同指導）

医療・介護関係者の情報共有体制の構築推進のため、市内病院における退院時のオンラインカンファレンスの導入について支援を進めた。

○在宅介護生活サポート事業ワーキング

包括への看取りについての相談が相次いだことから、市民と医療介護関係者向けに、「ひらつか在宅介護生活サポートガイド」（仮）を作成する動きを進めた。

2-1 対応策の実施

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営

地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等に対し在宅医療・介護連携に関する相談支援を行った。

○在宅医療・介護連携の解決に向けた対応についての情報提供

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応する。参考となる相談、解決策についての医療・介護に関する情報について、連携支援センターホームページなどで情報提供を行った。

(キ) 地域住民への普及啓発

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○地域住民向け講演会などの開催

もしバナゲームの体験からこれからの人生を考えるきっかけ作りとして、ひらしん文化芸術ホールにて講演会とワークショップを開催し、385名の市民の参加を得た。

○地域住民向け YouTube の配信

「動画で見よう！！」シリーズの訪問看護と居宅介護支援の動画を YouTube で配信。

2-2 対応策（地域の実情を踏まえた実施内容）

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

○医療機関と介護事業所の情報共有

情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」「救急連絡シート」を活用した。

○medical B. I. G net

包括管理者連絡会にて当事務局から講演をいただき周知を進めた。

(カ) 医療・介護関係者の研修

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○多職種が連携するためのグループワーク等の研修

- ・急性期病院職員と包括・居宅のそれぞれで情報交換会、事例検討会を開催する。
- ・薬剤師と介護職との多職種連携についての人材育成セミナーを開催する。
- ・「終末期」をテーマに医療・介護関係者、施設職員を対象とした多職種学習会を開催する。

○研修資料の再活用

- ・在宅・施設で働く医療者・介護者・市民を対象に「動画で見よう！！」として訪問看護、居宅介護支援事業所のサービス内容の紹介を YouTube で配信する。

令和5年度の取組（予定）

1 現状分析・課題抽出・施策立案

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集

三師会の会員を対象とした医療機関等情報を把握、神奈川県への登録情報から介護事業所の最新情報を得る。

○医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用（ホームページでの情報提供）

・市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を更新。

・「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を更新。

（市 地域包括ケア推進課）

○ひらつかわくわくマップの更新

平塚市ホームページ（ひらつかわくわくマップ医療介護ページ）で市内の医療機関、介護事業所の位置情報を更新

（イ）在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討

○平塚市在宅医療・介護連携推進協議会の開催

第1回：令和5年8月予定

平塚市の取組・平塚市在宅医療・介護連携支援センターの運営について

第2回：令和5年11月予定

同上

第3回：令和6年3月予定

認知症総合施策についてなど

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

○終末期に向けた活動支援事業

終末期における意思表示について支援をするために、「平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会」を開催する。またエンディングノートなどの活用を含めた事業を行う（令和3年度より配布中）。

○在宅介護生活サポート事業ワーキング

包括への看取りについての相談が相次いだことから、市民と医療介護関係者向けに「ひらつか在宅介護生活サポートガイド」（仮）を完成し、その運用や定着についての今後の方針を固める。

2 対応策の実施

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営

地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等に対し在宅医療・介護連携に関する相談支援を行う。

○医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応する。参考となる相談、解決策についての医療・介護に関する情報を、連携支援センターホームページなどで情報提供を行う。

(キ) 地域住民への普及啓発

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○地域住民向け講演会などの開催

- ・2月に認知症患者へのACPの講演会を開催する。
- ・介護予防教室等地域からの依頼で職員が講義を行う。

○地域住民向けYouTubeの配信

- ・「動画で見よう！！」シリーズの訪問看護と居宅介護支援の動画をYouTubeで配信する。

2-2 対応策（地域の実情を踏まえた実施内容）

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

○医療機関と介護事業所の情報共有

情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」「救急連絡シート」を活用する。これら4つについて、記入内容の最適化、医療・介護関係者への利用の促進の働きかけと、市民への啓発を行う。それらに、「ひらつか在宅介護生活サポートガイド」（仮）を加えた運用を考える。

○medical B. I. G net

病院から地域への退院支援についてかかえている課題などを明らかにし、当ネットの周知等行政としてできることを続けていく。

(カ) 医療・介護関係者の研修

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○多職種が連携するためのグループワーク等の研修

- ・急性期病院職員と包括・居宅のそれぞれで情報交換会、事例検討会を開催する。
- ・薬剤師と介護職との多職種連携についての人材育成セミナーを開催する。
- ・「終末期」をテーマに医療・介護関係者、施設職員を対象とした多職種学習会を開催する。

○医療・介護関係者に対する研修

- ・在宅・施設で働く医療者・介護者・市民を対象に「動画で見よう！！」として訪問看護、居宅介護支援事業所のサービス内容の紹介をYouTubeで配信する。

以 上